

宮田太郎講師と行く

歴史ロマン古道探索シリーズ



知られざる北海道の歴史ロマン

どうなんじゅうにだて

いおうざんじょう

～アイヌ&和人・北の日本海交易“道南十二館と夷王山城”～ 3日間

講師より

北海道は函館から渡島半島の西端・上ノ国町にかけて中世～近世の道南十二館跡の歴史と史跡を探索していきます。古くは擦文文化時代(飛鳥時代～平安・鎌倉時代)に始まり、中世には東北地方津軽の安東氏や渡島の蠣崎氏らがアイヌとも関わりながら北の交易を担って来たその現場を実際に訪問し実感してみたいと思います。

夷王山

山頂からは上ノ国市街はもとより、日本海に浮かぶ奥尻と大島の島影、熊石方向へ延びる海岸線が一望できます。



コース番号 C4000-077

同行 1名 回 15名 不可
バス会費 大沼交通同等

旅行代金1～2名1室 108,000円 出発日 8月29日(水)

1 羽田(7:00～8:00発)→函館＝国指定「志苔館(しのりたて)」＝トラピスチヌ修道院＝函館五稜郭タワーと五稜郭＝四稜郭＝土方歳三最期の地碑＝函館・ホテルルートイングランディア函館(泊) ※歩行約4km、約1.5時間 閉館日

2 函館＝茂別館跡(矢不來天満宮)＝威臨丸終焉の地「サラキ峠」＝木古内「いかりん館」(見学)＝国史跡「上之国洲崎館」…国史跡「上之国花沢館」…国史跡「上之国勝山館」とガイダンス棟(夷王山)…笹浪家(見学)＝函館・ホテルルートイングランディア函館(泊) ※歩行約5km、約2時間 開館日

3 函館…函館港の朝市＝レンガ倉庫(外観のみ)＝北海道第一歩の地碑…函館市北方民俗資料館＝元町公園(宇須岸館跡、奉行所跡、旧公会堂、港ヶ丘通りミニ散策)＝市立函館博物館(志苔館遺跡資料ほか展示)＝函館山(山頂の展望台と付近散策)＝函館→羽田(20:00～21:30着) ※歩行約3km、約1時間 開館日

※羽田空港施設使用料580円が別途必要になります

国の史跡に指定されている志苔館



サラキ峠に眠る威臨丸

